



Title	メタフュシカ 第29号 表紙/目次
Author(s)	
Citation	メタフュシカ. 29
Issue Date	1998-12-25
Text Version	publisher
URL	<a href="http://hdl.handle.net/11094/66606">http://hdl.handle.net/11094/66606</a>
DOI	
rights	
Note	

***Osaka University Knowledge Archive : OUKA***

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

# メタフェシカ

## 第29号

---

解釈学的現象学の成立とその射程	溝口宏平	( 1 )
スピノザ『エチカ』における感情の意義	中田勝也	( 13 )
力能と排除	河村厚	( 29 )
——スピノザ政治哲学における女性と奴隷をめぐる問題について——		
「心の動き」と方法	堀江剛	( 45 )
——スピノザ哲学における倫理・宗教的なものの理性への変換について——		
実体における個性性と普遍性	松田孝之	( 59 )
——ライブニッツにおける実体概念に即して——		
社会の生成と生命	陀安広二	( 73 )
——ベルクソンの社会論——		
ハイデガーのパトス解釈と情態論	佐々木正寿	( 87 )
前期ハイデガーにおける時間性と歴史性	土井理代	( 101 )
首尾一貫したH・アーレントの思想	舟場保之	( 113 )
——「活動」から「共同体感覚」までを批判する試み——		
「病」の認識論に向けて	本間直樹	( 127 )
——家族療法からシステム論へ——		
彙報		( 141 )

---

大阪大学大学院文学研究科哲学講座

1998年12月